



伝統を受け継ぐ全校合唱

「校長先生、今日の合唱練習どうでしたか？」と、校長室に飛び込んできた伊藤芽衣副会長（生徒会・合唱プロジェクト担当）に、「あなたはどう思った？」と質問を投げ返す。芽依さんは「今日が初めてなので、あまり声が出ないかなと思っていましたが、思ったよりも声が出ていました。特に、プレハブ棟の1年生の声が大きかったです。それと、齋野先生の声」と答えた。昨日は、終わりの会を利用して生徒会主催で「全校合唱」の練習が行われた。コロナ対策のため、クラス毎窓を開け、マスク着用のうえ全員が外に向かったの合唱練習だった。芽依さんは、わざわざ職員駐車場に出て、各クラスの歌声を聞いていたのだという。



まずは校歌からということで、生徒会では校歌の合唱に取り組むことになった。神中の校歌は他の学校には見られない合唱曲で、非常にきれいなハーモニーを奏でる。入学式、卒業式なども校歌は合唱である。ところが、今年は入学式をはじめ、生徒会入会式、壮行式など式と名のつくものはほとんどないし、あっても校歌は歌わない。体育館に集まる機会もほとんどなく、練習もできない。1年生は、まだまだ校歌の歌詞さえ覚えていない生徒が多いという。このままでは、先輩から受け継いできた伝統である校歌の合唱が途絶えてしまうのではないかとの危機感をもったのが生徒会役員の面々である。

しかし、しかしである。芽依さんは語る。「それなのに、3年生の声が小さかったな・・・。」と残念がっていた。（3年生の歌声について、ブラック・ムネティ氏にコメントを依頼する予定でしたが、生徒会の皆様から「それだけは止めてください」と懇願され依頼は取り消しとなりました）合唱練習後には、全校生徒に振り返りを行ってもらい、その結果を集約し今後の合唱練習につなげていきたいという。まずは校歌を大きな声で合唱する、そして文化祭での合唱につなげていく構想らしい。神町中学校の合唱の伝統が受け継がれていくのか、それともここで途切れるのか？ 夢色通信社では今後の展開を注意深く見守っていくつもりである。

今日は学力検査でした。例年だと、4月に行われていた試験です。

最後のおまけで、下の問題もどうぞ！

問1) 下の文章は、みんなが知っている「あるもの」について述べています。何のことでしょう。

- ◆まるいものは、かたい。
- ◆しかくいものは、うすい。
- ◆10は100より大きい。

問2) [?]に入る数字は何でしょう。法則を推理して、答えましょう。

5, 6, 4, 7, 3, 8, 2, ?

